



横浜市立川和東小学校 学校便り

Create

「創造する子」【自分・仲間・学校・まち・夢を創る】

7月号

発行日
2019年
6月27日

～自分・仲間・学校・まち・夢を創る～
～「創造する子」未来への挑戦～

子ども一人一人を徹して大切にする

横浜市立川和東小学校
副校長 岩田 和也

新しい学年・クラスとなり4月から3か月が過ぎようとしています。始めのうちは、少し緊張した面持ちで、周りの様子を窺いながら教室で過ごしていた子どもたちも、クラスの雰囲気にも慣れ、友達との関わりも広がり、一人一人のよさが表に見られるようになってきたように見受けられます。新しいクラスの仲間とのつながりや新しい友達のよさとの出会いは、子どもたちが人とかかわることの価値です。その姿を私たちは価値づけて、子どもの自信につなげていきます。時に、かかわりの深まりは、子どもたちに困り感をうむこともあります。その悩みも丁寧に寄り添うことで子どもを成長させることにつなげています。

本校では、「子ども一人一人を徹して大切にする教育」を目標に掲げています。子どもが不安な気持ちにあるとき、何にどう寄り添うべきか、「その子にとっての安心・安全は何か」を、職員は、学年主任や児童支援専任と相談をしながら学校として、その子への接し方を考えていきます。子どもは安心や安全を感じた時に心を開き、言葉を深く受け取ります。子どもたちは皆、心を開いて話をしたいと願っています。でも、話せない事情もあるのでしょうか。

そのようなとき、私たちは、子どもの話を最後まで聞くことで、その子が大事にしていることを大事にします。「今はそういう気持ちなのだね」「あなたはそう考えたのだね」「うまくいかなかったのだね」「話をしてくれてありがとう」…

正しさよりも誠実さの方が伝わり、信頼につながるのでしょうか。私たち大人もそうだと思いますが、生きていくうえで不安が無くなることはないだろうと思います。子どもの抱く不安の理由を共に見つけ、不安を小さくし、安心を大きくする方法を一緒に考え、子どもの力で解決できるように指導し、導くことが、私たちが子ども一人一人を徹して大切にする姿です。その子を取り巻く子どもたちへも同様に、寄り添い、成長を促し、安心できる居場所をつくります。保護者の皆さまにも「子ども一人一人を徹して大切にする」一員になっていただくと、子どもたちにとっても大変心強いことだろうと思います。

「人の体に触れるには手を使うが、人の心に触れるには言葉を使う」

7月には、全家庭と三者面談を行います。子どもの心に触れる言葉で、子どもが自信を得て次への意欲をもてたり、安心を大きくするための方法を自覚できたりすることで、安心・安全につながる対話ができるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

学校便りは、本校ホームページでもご覧いただけます。あわせてご覧ください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawawahigashi/>